1 五年生で習った漢字ー 5/7

名前

❶ 次の文が表す言葉を漢字で書きましょう。

① 来年の次の年のこと。

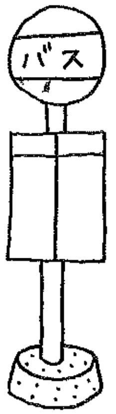
② 病気になった人やけがをした人を病院に運ぶ車。

③ かみの毛の生えぎわからまゆまでの間。

④ 木の根の上から枝や葉を出すところまでの太くて大事な部分。

⑤ 乗客の乗り降（お）りのためにバスなどが止まる場所。

□□所



⑥ 人に差し出してわたすこと。宿題を〇〇する。

❷ 反対の意味の漢字を□から選んで組み合わせ、二字の熟語（じゅく）を作って書きましょう。

減	往	損	妻
得	夫	増	復

2　五年生で習った漢字２

5/7

名前

● 次の各文の中には、まちがった漢字の使い方をしている部分が一か所ずつあります。その部分に――線を引き、（　）に正しく書き直しましょう。

① 生徒を正しい方向へ道びく。（　　）

② となりの部屋から心よい音楽が流れてきた。（　　）

③ 兄は児童会の副会長を努めた。（　　）

④ となりの席から聞こえる一人言が気になった。（　　）

⑤ かれは政治家を心ざして東京へ行った。（　　）

⑥ 小学生がこの問題に正解する確立は非常に高い。（　　）

⑦ 太平洋を港海中に、大きなあらしにあった。（　　）

⑧ 学校の規測を破る。（　　）

3 五年生で習った漢字3

5/7

名前

❶ 音が同じで形もよく似た漢字は、とてもまちがえやすいものです。片仮名を正しく漢字に直して、□に書き入れましょう。

① ケン　危□　□査　体□

② セキ　面□　成□　□任

③ ハン　□画　夕□　□応

④ シキ　常□　組□

⑤ セイ　□服　□品

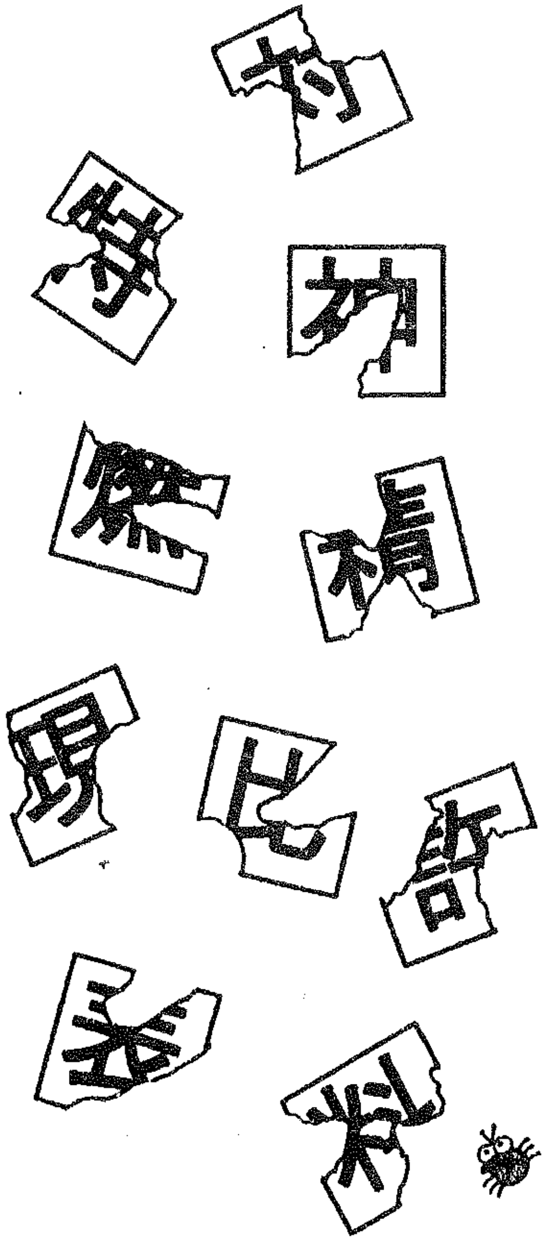
⑥ コウ　□演会　□成

⑦ ジュツ　□語　手□

⑧ フク　□雑　回□

⑨ ジュ　□業　□験

❷ 漢字のカードが虫に食われてしまいました。元の漢字はなんでしょう。分かったら、それらを組み合わせて二字の熟語を五つ作りましょう。

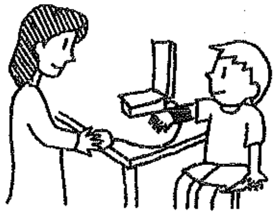


4 五年生で習った漢字4

名前

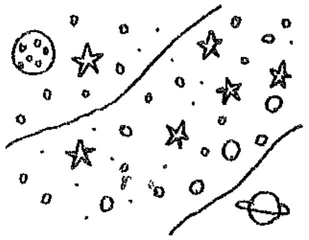
● □に漢字を一字入れて矢印の方向に読むと、二字の熟（じゅく）語が四つできます。当てはまる漢字を書き入れましょう。
分からないときは、□から選んで書きましょう。

①



- 血 ↓ □
- 気 → □ → 勝
- □ ↓ 力

②

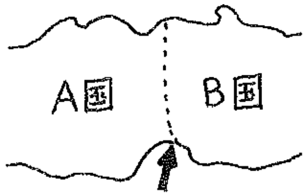


- 銀 ↓ □
- 氷 → □ ← 運
- □ ↓ 口

③

- 反 ↓ □
- 流 ← □ → 風
- □ ↓ 転

④

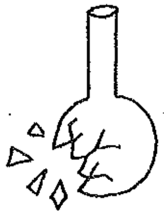


- 国 ↓ □
- 逆 → □ ← 心
- □ ↓ 界

⑤

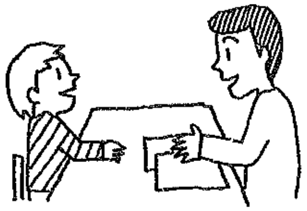
- 毛 ↓ □
- 配 → □ ← 公
- □ ↓ 教

⑥



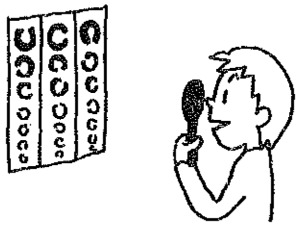
- 読 ↓ □
- 連 → □ → 局
- □ ↓ 損

⑦



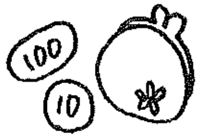
- 直 ↓ □
- 面 → □ → 近
- □ ↓ 続

⑧



- 近 ↓ □
- 老 → □ → 球
- □ ↓ 科

⑨



- 課 ↓ □
- 関 → □ → 制
- □ ↓ 金

接 境 破 逆 河 税 眼 布 圧

5 五年生で習った漢字５

5/7

名前

● 次の片仮名（かたかな）の言葉を、文に合う熟語（じゅくご）に直して□に書き入れましょう。

① ヨウイ
- 食事の□□をする。
- この問題は□□には解決できない。

② コウカ
- 薬の□□が現れる。
- □□なプレゼントをもらう。

③ セイカク
- この時計は□□だ。
- 母は明るい□□だ。

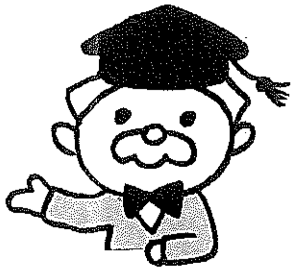
④ サイシュウ
- こん虫を□□する。
- アニメの□□回を見のがす。

⑤ シジ
- ぼくはかれの意見を□□する。
- 先生の□□に従（したが）う。

⑥ カンコウ
- 本を□□する。
- □□客を案内する。

⑦ ショウタイ
- パーティーに□□する。
- 犯人の□□をあばく。

もう一つ、ちょうせんじゃ。
どちらもイシが入るぞ。分かるかな。
・□□に相談する。
・□□が強い。



6 五年生で習った漢字６

名前

● 次の平仮名（ひらがな）の言葉を、文に合う漢字に直して（　）に書き入れましょう。送り仮名にも気をつけましょう。

① おさめる
- 国を（　　）
- 学業を（　　）

② とく
- 問題を（　　）
- 仏の教えを（　　）

③ おる
- はたを（　　）
- 紙を（　　）

④ まぜる
- 色を（　　）
- トランプを（　　）

⑤ へる
- 体重が（　　）
- 三年の月日を（　　）

⑥ つくる
- 曲を（　　）
- 船を（　　）

⑦ うつす
- 席を近くに（　　）
- 詩を色紙に（　　）

⑧ あつい
- この本は（　　）
- 気温が（　　）

⑨ たつ
- 命を（　　）
- 家が（　　）
- いすから（　　）

⑩ はかる
- 時間を（　　）
- 重さを（　　）
- 長さを（　　）

7 五年生で習った漢字７　5/8

名前

● 次の――線の部分を漢字で書きましょう。必要ならば送り仮名(がな)も書きましょう。

① びんぼうだったじいさまは、かさをあんで売りに行った。

② インターネットにより、いながらにして多くのじょうほうが得られる。

③ あれた土地をたがやし、やせた土地をこやして、作物をゆたかに実らせる。

④ できるかぎり、こうしゃをせいけつにする。

⑤ よけいなお金を使わないしっそなくらしを送ったれきし上の人物。

⑥ この馬はこう奮(ふん)してすぐにあばれるので、ちかよらないように。

⑦ ぶっきょうの伝来は、六せいき半ばといわれている。

⑧ つね日ごろから、よりよいクラスのあり方について考える。

⑨ 父がいとなむ農場で、牛のしいくをまかされる。

⑩ このエアコンは、冷えすぎをふせぎ、室温を一定にたもつ。

五年生で習った漢字８

5/8

名前

● 次の――線の部分を漢字で書きましょう。必要ならば送り仮名(がな)も書きましょう。

① せいふは、さいがいにそなえて、しりょうを作った。

② 相手のいきおいにおされて、ついにかこまれてしまった。

③ ぞうきばやしのとなりに、かりの会場をもうける。

④ 新しくできたりきしのどうぞうは、町の人のひょうばんが高い。

⑤ やさしい問題をとくのにはなれた。

⑥ 決勝でかれと対戦することになり、思わずむしゃぶるいをする。

⑦ つみをおかした自分をせめる。

⑧ ひさしぶりに、いとこが遊びに来たので、友達と遊ぶ約束をことわる。

⑨ 妹は、ドラマにしゅつえんしているこせいてきなタレントにむちゅうだ。

⑩ 父は、月にへいきん三回は名古屋(なごや)にしゅっちょうする。